

2020（令和2）年度

伊丹市人権教育指導員 派遣のしおり

人権尊重のまちをめざして

— 人権を守り育てる輪をひろげましょう —



伊丹市教育委員会事務局人権教育室

人権教育指導員は、これまでの同和教育の成果を生かし、法の下
の平等や個人の尊重など人権一般の普遍的課題や個別の人権課題に
ついて研修のお手伝いをします。

指導員の派遣や学習内容のご相談
についてお気軽にお電話
ください！

テーマは、女性・子ども・高齢者
・障がいのある人・同和問題
・外国人・性自認など



- ◎地域団体(自治会など)の研修
- ◎社会教育関係団体(PTA、老人クラブ、女性団体など)の研修
- ◎企業(職場)などの研修
- ◎学校園での研修

- 謝礼は一切必要ありません。
- 派遣を希望される場合は、人権教育室に希望内容と講師などを申し出ていただ
いたのち、『伊丹市人権教育指導員派遣申請書』を提出してください。

〔手続きの流れ〕

①人権教育室に問い合わせ、希望内容など申出（相談）

②人権教育室に「伊丹市人権教育指導員派遣申請書」を提出

③研修終了後、速やかに「伊丹市人権教育指導員派遣研修実施報告書」を提出

※伊丹市ホームページからフォームをダウンロードできます。

※新型コロナウイルス感染拡大に伴う制約などについては、人権教育室にお問い合わせください。

○視聴覚教材（人権に関するVHS・DVD・啓発図書など）も豊富に取り揃えてい
ます。



（連絡先）

伊丹市教育委員会事務局

人権教育室（直通）TEL 784-8113

FAX 780-3519

	名 前	主 な 指 導 内 容
1	アイハラシンヤ 相原信也	子どもの人権をはじめ、スポーツと人権、人と人のつながりやさまざまな人権課題について一緒に考えます。参加型人権研修を中心にを行います。
2	イシザキカズミ 石崎和美	女性と子どもの人権に関わる研修をワークショップ形式で行います。DVや虐待防止、パワーハラスメント防止、LGBTについても、わかりやすくお話します。
3	イケダチヅミ 池田千津美	自らの被差別体験や子育ての中で差別と向き合ってきたこと、ひかり保育園・摂陽小学校・元解放児童館設立の経緯や取り組みの中で見えてきたことなどをお話します。
4	イケダヨウコ 池田陽子	幼児教育に携わる中で、「自尊感情を育むためには」「命の大切さ」について、共に考え合い、実践に生かせる研修を行いたいと思います。
5	オクムラケイコ 奥村恵子	子どもの人権を尊重した子どもへの関わり方や声かけのしかた、仲間づくりなどについてわかりやすくお話ししたり、ワークショップ型の研修をすることも可能です。
6	カナヤマタダシ 金山 督	同和教育推進校、人権啓発行政へのかかわりや保護司としての経験をもとに、人権教育や子どもの人権についてお話をします。
7	キムキョウジャ 金 慶 子	在日外国人として受けた差別とどう向き合い、乗り越えてきたかについての笑いあり涙ありのお話をします。美しい民族衣装などで朝鮮の歴史と文化も伝えます。また、子どもの特性や子育てのおもしろさ、楽しさについても体験を交えてお話をします。
8	コジマアキラ 小島 朗	子どもたちを取り巻く周辺で起こっているさまざまな人権課題について、中学校教員としての経験を通してお話します。
9	コマツしのぶ 小松 しのぶ	知的・発達障がいのある子ども達と生活をしている中で、自分が気付いたことや気付かされたこと、感じたことを基に、地域の中でみんながお互いに支え合いながら、人として共に生きることの大切さを伝えます。
10	スズキタカイチ 鈴木 隆 一	臨床心理士・保護司としての経験を生かした子どもの人権・健全育成や子育て支援・発達障がい(理解・かかわり)・いじめ問題・非行問題についてのお話をします。
11	タナカアキコ 田中 章 子	自らの被差別体験の話を通して、「部落問題を正しく知ることはすべての人権課題解決に向かうことである。」というメッセージを伝えます。
12	テラオカコトモ 寺岡 とも子	PTA活動から始まった部落問題の学習を通して様々な人と出会い、差別意識からの解放に繋がっていった自身の体験をお話します。
13	トダトヨミ 戸田 登代美	中学校の教員であった経験を生かして、子どもの人権について一緒に学びたいと考えています。
14	ハタエミユキ 波多江 みゆき	コミュニケーション、自尊感情を軸に、女男共「自分らしく」を大切にできる、元気が出るワークを行います。また、性的マイノリティに関する正しい知識を共に学びましょう。
15	ハマダサダコ 濱田 格 子	女性や子どもの人権、子育てについてわかりやすいお話をします。ワークショップ形式の研修もします。
16	ハヤシヤヨイ 林 やよい	生まれつき重度の身体・知的障がいのある長女と暮らす中で得てきた様々な人権に関する気づきを実体験にもとづいてお話します。
17	バンジョンウン 方 政 雄	グローバル時代を迎え、多文化共生社会の有りようについて、在日外国人としての生活体験を通して、人権的視点に立った異文化理解の大切さとその方途をお話します。
18	マサダタツヤ 増田 達 哉	認知症や障がいなどで判断能力が不十分な方への意思決定支援についてお話します。また虐待や消費者被害についてもお話します。
19	ミヤタニカズノリ 宮 谷 和 教	子どもの自尊感情など、子どもに関わる人権を中心にさまざまな人権課題についてお話をしたり、参加体験型の学習会を行ったりします。
20	ムラヤマコウジ 村山 孝 司	企業における人権課題に対する取り組みや研修のあり方、体制づくりについてお話します。
21	モリタクニヒコ 森 田 邦 彦	自らの子育てや親の介護など、これまでの体験をもとに、子どもの自尊感情の育て方など、さまざまな人権課題についてお話しをします。
22	ヨシノマサシ 吉 野 真 旨	ノーマライゼーションの基礎理念と共に、インクルージョンという新たな概念の具現化により、共生社会の構築を目指し、障がい当事者の視点からメッセージを発信し、様々な気づきを提唱します。
23	ワケクマナブ 和 久 マナブ	教育の現場で、日々対応してきた子育ての悩みや、子どもの人権等の課題について、自らの経験を交えてお話します。